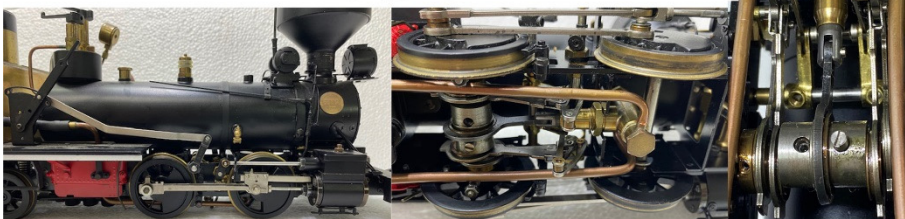
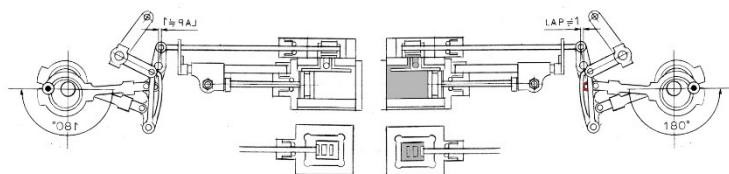
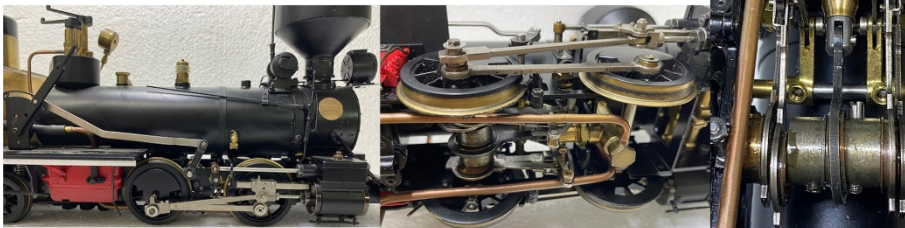
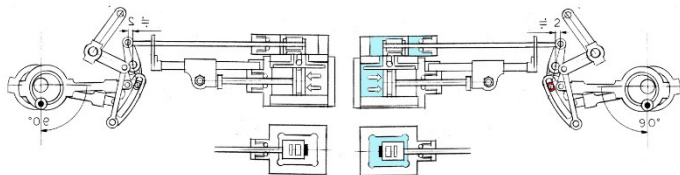
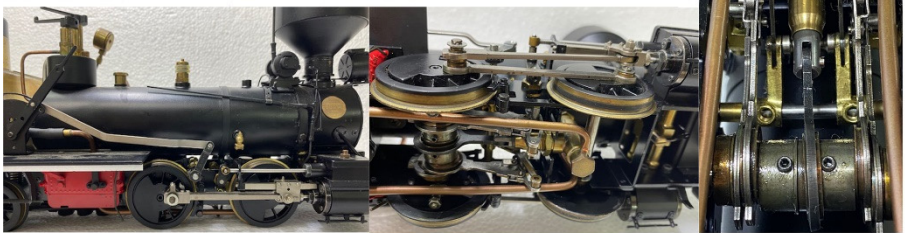
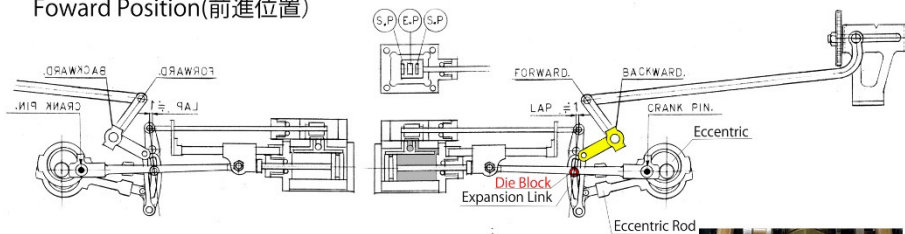


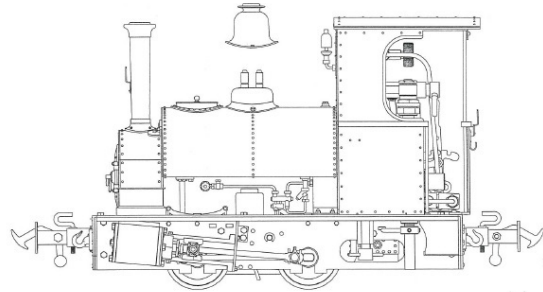
Accucraft 安物の新製品情報

既に私はコミットせん！と言っていますが、次回のアキュ UK 向けナローゲージ(Victory や Adams と同じ“おもちゃ式”の弁装置)の安いモデルです。が、キットも！やるようです。まあ構いませんが、唯部品は、全て日本製(弊社の外注製造)です。微妙な制御は出来ないでしょうが狭いレイアウトでとことこ走らせるには、よいモデルでしょう。しかし、一方でスティーブンスン式弁装置の弁慶を始めとする小型機の準備も着々と進んでいます。仕組みを“若く新しい”設計者に理解して貰うのが『肝』なんですが、そこが、なんとも難しく！自身の語学力の無さを痛感している今日この頃です。

Foward Position(前進位置)



Assembly Illustrations for the Accucraft UK Cranmore Peckett 0-4-0ST



左のイラスト(木曾森林鉄道ボードウィン'2010)のティーブンスン式弁装置の動作過程を示しています。各クランクの位置=ピストンの位置が、90度ずつ変わると、偏心輪の位置と偏心棒の位置、それに伴い、変わる加減リンクの角度それが滑り弁を制御し、前後の“蒸気ポート”を、交互に開けている様子を理解頂ければと思ったのですが伝わらず…。因みに、イラスト内の赤いポッチが、滑り子の位置です。従って、本イラストは、前進の場合を示しているのです。

前死点
0°
Dead center

crank
90°
valve front
port fully

後死点
180°
Rear Dead
Center

ちなみに、写真のモデルでは、試作なので逆転機やリーチロッド、軸同ポンプの形状が、量産品とは異なります。最初レバー式にしよう！と、考えていたのですが、取り付け位置が、ボイラーに“近い場所”にせざるを得ないので、火傷防止の観点や、カットオフ(微妙な調整)が、楽しめないから、量産では、スクリー式になりました。

キットのままにしておけばよかったですよねえ (完成品のみです)

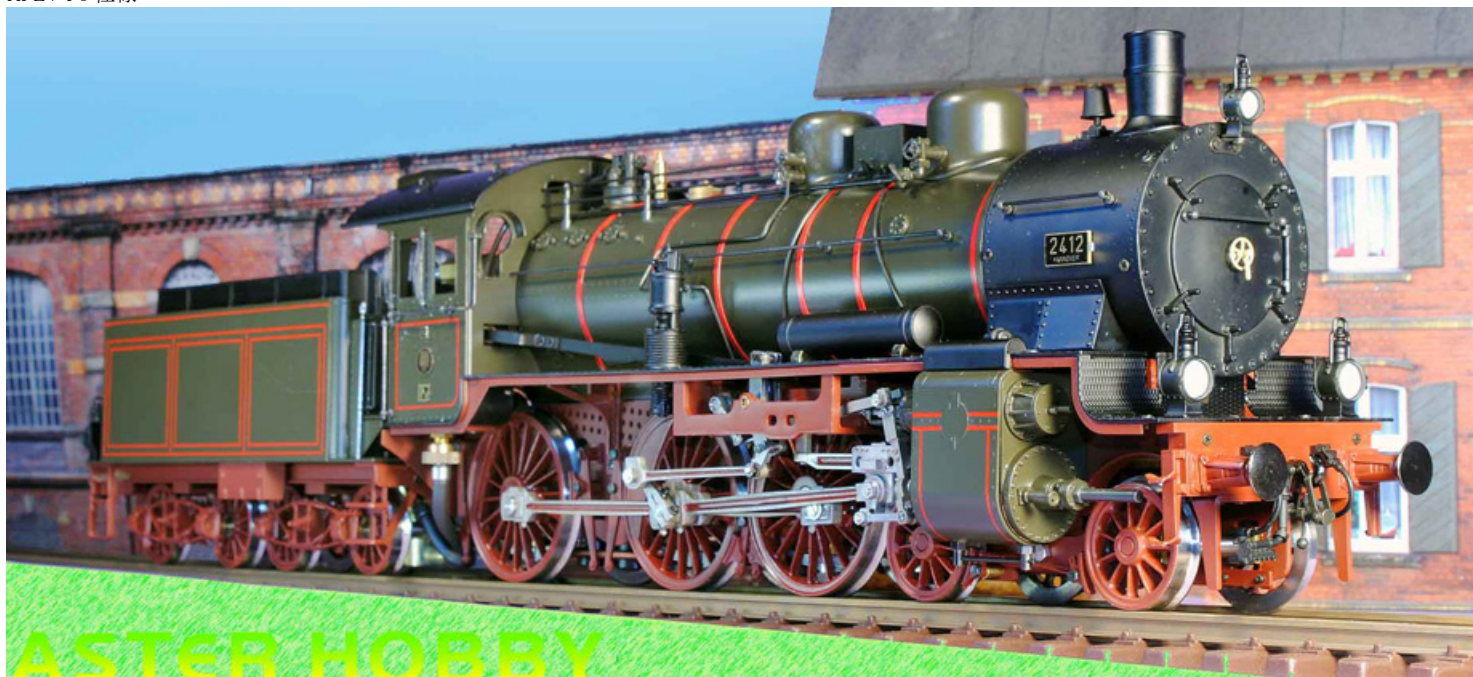
ドイツの D51 こと、ドイツ最大の生産数を誇った BR38 の戦後型と、その前身である KPEV P8 の完成品が 1 台ずつ残っています(超長期在庫ですが、1 台なので経理上問題はない物です) 欧米の方も、こいつはキットなら買うのだが、というモデルです。展示モデルだったので完成品にしたものが残っているのです。まあ、弊社的には、気長に売れば? という商品ですが、宜しければ、ご検討ください。BR38 は DB 仕様の新品で 58 万ですが、P8 はレストア品なので 38 万でご提供します(税送料別です)



下のワンネンテnderは別売品です



KPEV P8 仕様



ASTER HOBBY

即納可能です (P8 は完成品のみ。新しい写真を紹介します)

長らくお待たせしました、日本向け現時点の残在庫は 5 台限定になりました。通風機、再生産品で入荷しています。又、日本製の全鉄製の構造部品で組み立てられた、サザンパシフィック P8 も納品可能になりました。今ならサンフランシスコではなく、上海から送ってもらえます(各種追加料金は激安です)

回転可変型 : 15,000 円 (税、送料別) …… 単三電池 4 使用

SP P8 : 440,000 円 RTR のみ (税、送料別) (注) 為替により若干の変動はあります。

なお今ならば P8 には輸入手数料はかかりません。この価格のままです。以降は米国か中国工場からの、個別輸入になり、関税と運賃が加算されます。この価格に国内諸費用が加算されます。ご注意ください。

なおユーティリティー仕様の茶色い K2 も限定 10 台で日本に入る予定です。これも無くなり次第同様に、個別輸入品になり、諸費用が加算されますのでご注意ください。詳しい仕様などはこちらでご確認ください



B1 イレギュラーモデル想定外に綺麗だったので

LNER の黒キット 1264 1 台だけ、特別に今回の 3 次生産予約分で入れたのですが、ボイラーを英国仕様から標準仕様にするよう、強く求めましたが、信用できず、実は、この 1 台だけボイラーの検品をしました。結果、想定外に出来が良かったので、AccuUK 向けを強引に取りました。ご興味がある方、今週いっぱいご注文を承ってみようかとも思います。価格は 360,000 円 (税送料別 輸入関税と航空輸送費、但し上海からなので左程高くないです。が加算されます。)

BR の黒が 330,000 円 (税送料別) ですが、1264 の方は、煙室部分が艶消しに塗り分けされていたり、車輪やキャブとテンダーに赤いラインが追加されていたりと、値段差だけの外観に凝った手が、加えられています。少々、ここ(横浜)に来て、作業をして帰った、知っているはずの、中国工場の職人(燕子)さんの腕前を舐めて掛かっていました(反省)



下がオリジナルの B1



通常版“緑仕様”も！販売中